

理事長あいさつ

働き、学び、遊び、奉仕するセンターへ

理事長 船越

昇

2月末に役職員のみなさんと滋賀県栗東市のシルバー人材センターへ研修に行ってきました。研修の主な目的は「カブトムシ養殖」など独自で展開されている事業の勉強でしたが、私が一番印象に残ったのは、「働き」、「学び」、「遊び」、「奉仕」の四本柱をたてて基盤強化を図っているユニークな運営ぶりでした。

「働き」というのは就業の拡充です。農林業と工業が混在している同市は就業の場に恵まれており、平成18年度の就業率は90%を超えています。

「学び」というのは講習会や技能習得学習のほか、手芸や生け花、手話、語学学習などが含まれています。

「遊び」というのは同好会活動をいいます。書道、カラオケ、グラウンドゴルフ、舞踊、旅行、囲碁・将棋などのクラブがあり、会員の親睦、活性化に大きく役立っているそうです。

さらに「奉仕」というのはボランティア活動を指し、世のため人のために尽くすことで生きがいを高めようとしています。

栗東市シルバー人材センターは昭和60年に設立された滋賀県でも3番目に古いセンターで、会員数は18年度末現在402人、契約金1億4千万円の中規模センターです。独自事業を積極的に展開しており、全国からの見学者は絶えないようです。

法人設立4年目の当センターとはキャリアが違いますが、会員の元気さだけは引けをとらないと自負しています。元気な会員の力添えを得て、働きながら、学び、遊び、奉仕活動もするセンターに育てていきたいと願っています。

第2回通常総会

平成19年度第2回通常総会

平成20年3月29日(土) 午後2時から3時30分まで
シルバー人材センターにて開催されました。

- 第6号議案 平成19年度第2・3次収支補正予算(案)について
 - 第7号議案 平成20年度事業計画(案)について
 - 第8号議案 平成20年度収支予算(案)について
 - 第9号議案 理事及び監事の選任について
- 全議案を可決しました。



提供 大垣二三男(下)